

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公開番号】特開2016-186527(P2016-186527A)

【公開日】平成28年10月27日 (2016.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2016-061

【出願番号】特願2015-65934(P2015-65934)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/16 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 2 B 26/08 (2006.01)

H 0 1 L 23/467 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 21/16

H 0 4 N 5/74 H

G 0 2 B 26/08 E

H 0 1 L 23/46 C

G 0 3 B 21/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月1日 (2018.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 1 】

図 4 に示すように、本形態の電気光学装置 1 0 0 には、支持基板 9 0 より外側には、第 1 方向 X 1 の一方側 X 1 a から隙間 7 9 に向けて空気を供給する送風ファン等からなる送風装置 1 9 0 が設けられており、支持基板 9 0 および送風装置 1 9 0 はホルダー 1 8 0 に保持されている。このため、送風装置 1 9 0 から隙間 7 9 に向けて供給された空気流は、図 5 (b) に矢印 C で示すように、支持基板 9 0 の側壁 9 2 を乗り越えて第 1 方向 X 1 の一方側 X 1 a から隙間 7 9 に流れ込み、隙間 7 9 を通って第 1 方向 X 1 の他方側 X 1 b から流れ出す。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 2 】

(本形態の主な効果)

以上説明したように、本形態の電気光学装置 1 0 0 において、光は、カバー 7 5 を透過してミラー 5 0 に入射し、ミラー 5 0 で反射した光は、カバー 7 5 を透過して出射される。その際、カバー 7 5 や素子基板 1 の一方面 1 s に照射された光が原因で素子基板 1 やカバー 7 5 の温度が上昇しようとする。ここで、カバー 7 5 では、スパーサー 7 8 によって第 1 透光板 7 6 と第 2 透光板 7 7 との間に第 1 方向 X 1 の両側に向けて開口する隙間 7 9 が設けられている。このため、隙間 7 9 に空気等の流体を通すことにより、カバー 7 5 の放熱性を高めることができる。例えば、送風装置 1 9 0 から隙間 7 9 に向けて供給され

た空気流は、図 5 (b) に矢印 C で示すように、支持基板 9 0 の側壁 9 2 を乗り越えて第 1 方向 X 1 の一方側から隙間 7 9 に流れ込み、隙間 7 9 を通過する際、カバー 7 5 から熱を奪う。従って、照射した光等が原因で素子基板 1 等が温度上昇しようとしたときでも、素子基板 1 等の温度上昇を抑制することができる。それ故、電気光学装置 1 0 0 の誤動作や寿命低下を抑制することができる。